



新春を迎えて

町長 池部 彰

平成十七年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、戦後イラク統治の混迷、度重なる台風被害、新潟中越地震など、国際社会における日本の責任と自然の脅威を改めて感じた一方、アテネ五輪での日本人選手のメダルラッシュと移転元年となったプロ野球北海道日本ハムファイターズの躍進、真紅の優勝旗がはじめて津軽海峡を渡った駒澤苫小牧高校の甲子園制覇が明るい話題となった年でありました。

また、私にとりましては二期目の重責を担わせていただくこととなり、今後とも我が町の発展と町民福祉の向上を願い、誠心誠意、町民皆様の負託にお応えしてまいれる所存であります。

さて、二年目を迎えた第四次総合計画は、「まほらの南富良野 瑞々しい自然、誇れる大地、人のびのび、みなみふらの」の実現に向けて、公営住宅の建設や町道の整備、附属機関委員の公募など町民皆さんと協働した施策を展開してまいりました。

商工業については、依然回復をみない個人消費に加え、近隣町に新たな大型店が進出するなど更に厳しさを増していることから、商工業経営の安定継続のための施策を継続し、関係団体と一層の連携を図り取り組みを進めてまいります。

町の基幹産業であります農業については、五月の天候不順により作付けの遅れがあり、その後生育が回復し出来秋に期待をしていた最中、台風十六号と十八号により一部の作物に影響がありました。また、平年を上回る収量を確保した人参についても価格の下落に伴う出荷調整がなされ、生産者と関係者の皆様にとりましては厳しい状況であったと思います。今後もし生産性の向上と経営の安定化に努力する必要があると考えております。

少子高齢化が深刻化する中、子ども達の成長を第一に考え町内四中学校の統廃合を進めてまいりました。本年四月に「南富

良野中学校」を開校し、教育環境の充実を図ってまいります。また、次世代を担う子ども達が健やかに育っていくための環境整備が求められていることから、昨年設置した次世代育成支援地域行動計画策定協議会において、家庭と地域とが一体的に対応する計画の策定作業を進めているところであり、子育て支援の充実を図ってまいります。

国の財政危機を背景とした「市町村合併」は、現在三千二百ある市町村を千にすることを目標に、財政支援や優遇措置を図る中で強気に推進され、本町においても昨年五月に「南富良野町・上冠村合併協議会」を設立し議論を重ねてまいりました。しかしながら、「新まちの名称」と「事務所(役場)の位置」をめぐる協議が難航し、去る十二月二十二日開催の合併協議会において、これ以上協議を進めても進展が見込めないと判断し、協議会を解散いたしました。

「地方交付税の削減」が強気に押し進められる中、一層厳しい財政運営が求められています。すでに平成十六年度から十八年度までの三カ年を重点期間とする行財政改革に取り組み、人件費や補助金などの大幅な削減を行ってまいりましたが、平成十七年度においては、さらに職員の早期退職制度の創設や普通建設事業費の縮減、イベント事業の抜本的な見直し、水道料金の改定、公共施設のあり方と管理運営や委託内容の見直しなど徹底した行財政改革を進めてまいります。

今後、自立の道を歩む我が町にとりましては、極めて険しい道のが予想されます。町民皆さんが夢と希望を抱き続け、心豊かに生活できる「まちづくり」に向け、不転の決意で臨んでまいりますので、尚一層のご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成十七年 元旦